

ブレンデッド教育で効果的に 学習する12のポイント 【完全版】

全学教育推進機構 教育学習支援部

Ver. 1.3 2020/10/6



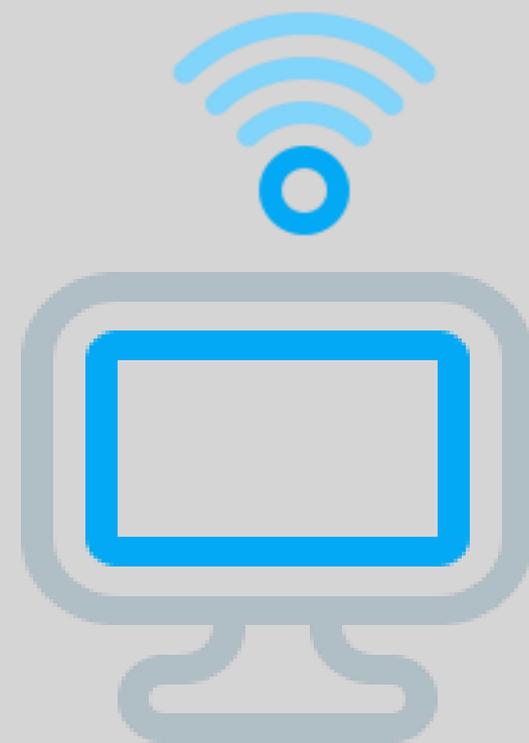
大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

ブレンデッド教育で効果的に学習する12のポイント

1. ブレンデッド教育を理解しよう
2. 学習環境を整えよう
3. 無理のない学習計画を立てよう
4. 情報は一括管理しよう
5. データダイエットしよう
6. 課題提出時には注意しよう
7. 学問的誠実性を守ろう
8. 自律的な学習者になろう
9. ICTツールを使いこなそう
10. 心と身体をケアしよう
11. 困ったら他者に助けを求めよう
12. 学生同士でつながろう



ブレンデッド教育を理解しよう

1-1. ブレンデッド教育の定義を理解しましょう。

- ブレンデッド教育とは、対面とオンラインの学習活動を効果的に組み合わせたカリキュラムおよび授業形態の総称です。

1-2. ブレンデッド教育の授業形態の種類を理解しましょう。

- ローテーション型授業：1つのコースや授業において、一定時間ごとに学生が異なる学習形態（対面、オンライン、協働学習等）をローテーションで移動してまわる授業形態。
- 反転授業：動画教材で予習し、教室では個別指導や協働学習を行う授業形態。ローテーション型授業の一形態とされることもある。
- 分散型授業：学生をグループ分けし、一方を対面で、もう一方をオンラインで実施し、次回の授業でそれを交代する授業形態。コロナ禍における実験や実習で急遽必要とされている。
- ハイフレックス（HyFlex）型授業：Hybrid-Flexibleの略。対面、同期オンライン、非同期オンラインが提供され、学生が自在に選択することができる授業形態。

ブレンデッド教育を理解しよう

対面



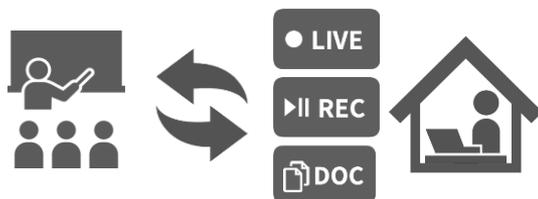
オンライン



- LIVE 同時動画配信
- ▶|| REC 非同時動画配信
- 📄 DOC 資料配信

ブレンデッド
(ハイブリッド)

ローテーション型授業



反転授業



分散型授業

グループA

グループB



グループA

グループB



ハイフレックス型授業



学習環境を整えよう

2-1. 自宅の学習環境を整えましょう。

- ▶ Windows10以上（MacOSやiOSの場合は最新のOS）のOSが搭載されたパソコンやタブレットを用意しましょう。なお、スマホだけでは画面が小さく資料が見えにくい場合があります。できる限りパソコンで受講しましょう。
- ▶ オンライン授業では光回線やWi-Fi環境での受講が推奨されています。モバイル通信では、通信制限がかかったり、利用料金が高額になったりする場合があります。注意しましょう。
- ▶ パソコンにカメラやマイクがついていない場合、別に準備しましょう。タブレットなど端末機器を複数持っている場合は、資料閲覧・作業用の画面と、教員や他の受講生の様子を確認する用の画面を分けると、受講しやすくなります。

学習環境を整えよう

- パソコンによってはマイクの音声聞こえにくいものがあります。自分の声が相手にも聞き取りやすいか、事前に確認しておきましょう。イヤホンやヘッドフォン（マイク付きならベター）があるとよいでしょう。ハウリングせずクリアです。

2-2. カメラとマイクを使いこなしましょう。

- カメラ位置は、自分の頭～肩あたり（正面）が写るように調節しましょう。スタンドを購入したり、パソコンの下に本を積み重ねたりするとよいでしょう。
- 音声はミュートに設定しましょう。マイクをオンにすると小さな音も聞こえてしまいます（ページをめくる・タイピングする・咳をするといった音が他の学生のノイズになります）。質問や教員の指示があれば、ミュートを解除しましょう。



無理のない学習計画を立てよう

3-1. 単位制度を理解し、無理のない学習計画を立てましょう。

- ▶ 大学では、1単位を取得するためには、45時間の「学修」が必要です（大学設置基準第21条）。ここで言う「学修」とは、授業中の学習と授業時間外の予習・復習を含んでいます。つまり、授業を受けるだけでは学習は完結せず、授業時間外に予習・復習などを行うことが必要とされています。
- ▶ 授業時間外の学習時間数は授業形態によって異なりますが、講義形式の授業の場合、授業時間の2倍の時間数が課せられるのが一般的です。つまり、90分の講義であれば、180分に相当する予習・復習が課されます。こうした時間を時間割上に自分で確保して、無理のない学習計画を立てる必要があります。

無理のない学習計画を立てよう

- できるだけ多くの単位を早期に取得しようとして、空き時間が全くないほど多くの授業を履修登録する学生もいます。このような場合、睡眠時間や課外活動等の時間が削られ、日常生活に支障をきたす場合があります。授業を取り過ぎないように注意しましょう。
- このようなことを防ぐため、CAP制（学期中において履修できる合計単位数の上限を設ける制度）を設ける学部もあります。履修の手引きで確認をしておきましょう。
- もし、受講の継続を希望しない場合は、受講開始後に設定されている、履修取消期間中に必ず取り消し手続きをとりましょう。これを行わないと、GPA値が低くなり、自身の修学状況の把握や教員による修学指導が適正にできなくなってしまいます。

無理のない学習計画を立てよう

3-2. シラバスをよく読みましょう。

- 選択科目を履修する場合、各科目のシラバスの到達目標、授業計画、授業方法、評価方法をよく読み、自分にとって本当に必要な科目かどうか、現在の生活スタイルの中で履修可能な科目数かどうかを考えましょう。
- シラバスには、どのような形態で授業が実施されるかについても書かれています。対面授業と同時動画配信授業が連続する場合、動画配信授業をキャンパス内の教室や自宅のどこで受講するのか、そこへの移動時間は十分かをイメージしておきましょう。もし、授業開始時刻に間に合いそうもない場合、事前に担当教員や各学部窓口に相談しましょう。



情報は一括管理しよう

4-1. 授業に関する情報は一括管理しましょう。

- 各授業のオンラインID、パスワードに関する情報
- 教材（URL含む）に関する情報
- 教員やクラスメイトとの連絡方法に関する情報



情報はその都度更新しましょう。

情報は一括管理しよう

4-2. 情報は構造化して管理しておきましょう。

- ▶ 年度や授業科目ごとにフォルダを作成して、ファイルがどこにあるかわかるよう構造化して管理しておきましょう。
- ▶ オンライン授業では、自分の作ったファイルを他者と共有する可能性があります。ファイルには「授業科目名・タイトル・作成者・作成日時」を明記しておくのがおすすめです。



データダイエットしよう

5-1. 通信量を減らして接続が切れないようにしましょう。

- ▶ ビデオ（映像）を表示させないようにしてみましょう。それが難しい場合、ビデオ（映像）の全画面表示をやめて、できるだけ小さくしてみましょう。ビデオがオフになっている人だけが画面に並ぶように設定することもできます。
- ▶ メインのもの以外、アプリやソフトを終了しましょう。特にブラウザは閉じましょう。どうしても、複数の画面を立ち上げなければならない場合は、事前配付された資料を印字したり、スマホと併用したりして通信負荷を分散させましょう。

5-2. 接続が切れてしまったら再接続・再起動しましょう。

- ▶ 落ち着いて再度接続しましょう。それでもうまく接続できない場合は、アプリやパソコンを再起動させてみましょう。

課題提出時には注意しよう

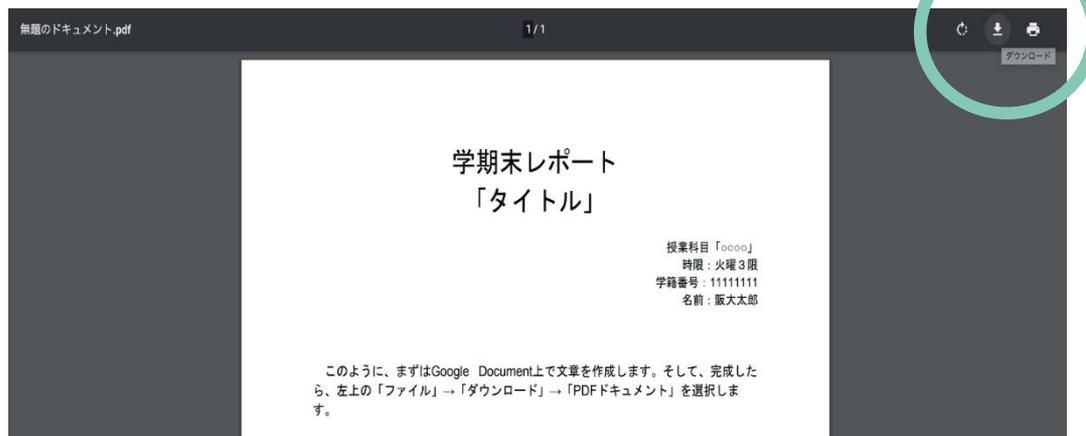
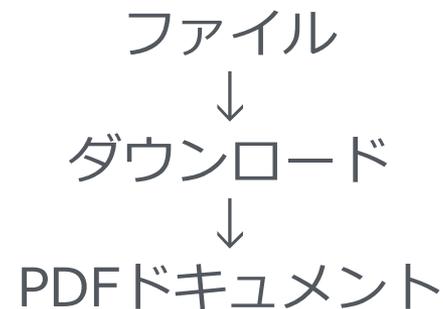
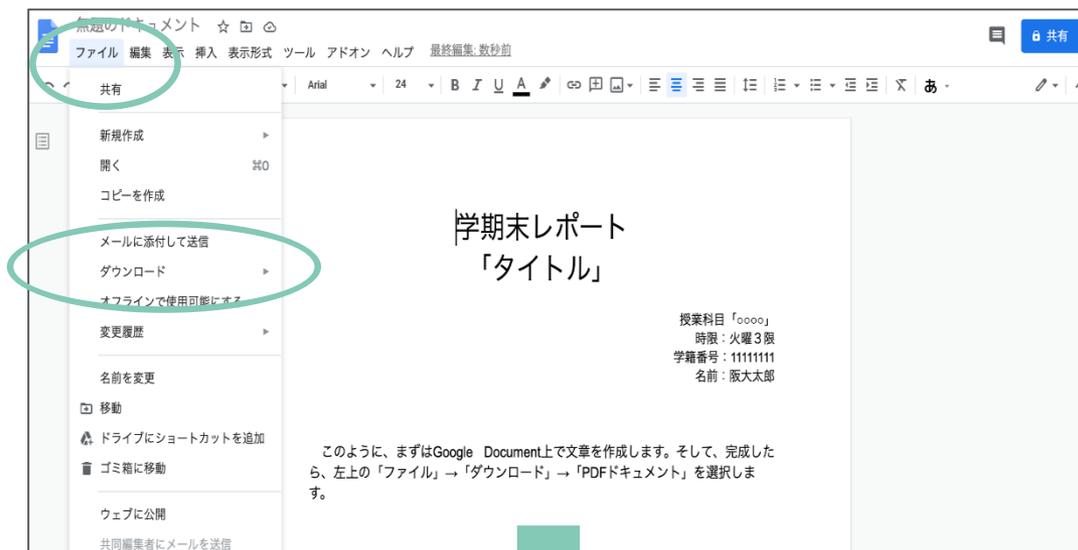
6-1. 課題提出時には、本文にも学籍番号・名前を書きましょう。

- CLEを通した提出であっても、ファイル名だけではなく、本文にも学籍番号・名前を書くようにしましょう。採点時に教員が作業をしやすくするためです。

6-2. 課題に必要なソフトがない場合は代替ツールを使いましょう。

- Office365を利用しましょう。大阪大学ではマイクロソフト社と包括契約を結んでいます。本学学生はWindows OS、Officeなどの製品を利用できます。
- スマホ用のスキャナアプリを使えば、撮影した画像をPDFに変換できるため、手書きのノートをPDF化することができます。
- Googleドキュメントは、Wordと互換性があり、PDF化することもできます。

Google Documentの作成とPDF化の手順



←ここから
ダウンロード

学問的誠実性を守ろう

7-1. 学問的誠実性を遵守しましょう。

- 学問的誠実性とは、学問に対する誠実さに関わる価値観とスキルのことです。つまり、誠実であることに高く価値を置き、誠実であるためのスキルが身についているということです。
- これは、学問をする者が遵守すべき基本的なルールです。これが守られなければ、人類がこれまで積み重ねてきた知が正しく継承されなくなってしまう。大学の定める規則に抵触すれば処分にあたる可能性も出てきますので、くれぐれも気をつけましょう。
- オンラインでは、試験監督がないため、不正が起こりやすい環境にあります。このような環境でこそ、学問的誠実性を守って行動しましょう。



学問的誠実性を守ろう

7-2. 学問的誠実性を侵害する行為を理解しましょう。

① 剽窃（ひょうせつ）

他の人の考えや作品を適切な出典を示さずに自分のものとして使うこと。（例）文献に書いてあった内容を引用せずに自分の意見として論文に記載する。

② 不適切な協働作業

定められたルールに則らずに他の人と一緒に問題を解くこと。

（例）オンライン上でのテスト中、友達とLINEで相談しながら問題を解く。

③ 複製

他の人の成果物を許可のあるなしに関わらず、複製すること。

（例）他の学生が書いたレポート内容をコピーする。

学問的誠実性を守ろう

④ 不正行為（カンニング）

テストなどにおいて、他の人の回答を盗み見したり、閲覧が許可されていない教科書や参考書を見たり、他人に相談したりして、回答すること。

⑤ 授業資料の無許可の記録・配布・公開

授業資料、授業動画や授業時の映像のURLやパスワードを無断で第三者へ教えたり、SNS上に公開したりすること。また、許可なく、動画を撮影して、SNS上で公開したりすること。

自律的な学習者になろう

8-1. 自分自身の学びを自分で律しましょう。

- オンライン授業、特に非同時型の授業では、いつでも学習ができるため、生活リズムが崩れ、課題を溜め込んでしまいがちです。この場合、テスト前に詰め込み学習をすることになります。
- ブレンデッド教育では、自分自身が自らの学びに責任を持ち、自らの学びを律することが求められます。このような学習ができる人を自律的な学習者と呼びます。
- まずは、自分で授業時間外学習（予習・復習・課題の作成など）のスケジュールを決めておきましょう。KOANアプリやGoogleカレンダーなどのスケジュール管理アプリが役に立ちます。
- 生活のリズムの立て直しができないなど、困ったら自分一人で抱え込みすぎず、助けを求めましょう。

自律的な学習者になろう

8-2. 遅刻や欠席の場合は教員に直接連絡をしましょう。

- オンライン授業であっても、無断欠席や友人を通じての欠席連絡はやめましょう。自律学習は無責任学習とは違います。直接、教員もしくはTA（ティーチングアシスタント）に連絡をしましょう。
- 授業によっては、欠席や遅刻によって、授業への入室許可、グループ分け、録画といった作業が生じる場合もあります。事前の連絡によって、教員もその準備を済ませておくことができます。
- どうしても事前に連絡ができない状況の場合、事後であっても連絡をしておくのがマナーです。
- 各学部や教員によって欠席連絡の手続きが異なるため、連絡方法を確認しておきましょう。

自律的な学習者になろう

8-3. 学内資源を活用しましょう。

- 探究学習とは自ら問いを立て、自ら問いの答えを探す学習のことです。授業で指示されているか否かに関わらず、自分の問いの探究のために、図書館などの学内資源を積極的に活用しましょう。大阪大学では、学外からでもアクセスできる電子ジャーナルなどのリソースが用意されています。

大阪大学附属図書館 https://www.library.osaka-u.ac.jp/off_campus/

- 授業前後に教員やTAに質問したり、オフィスアワーを利用して教員に個別で相談してみましよう。オンラインもしくは対面で対応してくれるはずですよ。これこそ大学での学びの醍醐味です。

自律的な学習者になろう

8-4. 振り返りながら学びましょう。

- 定期的に自分の学習を振り返る習慣をつけましょう（毎週土曜日など）。スケジュールがハードすぎた、学習の効率が悪かったなどの気づきがあるでしょう。これを基にスケジュールを再調整したり、自分なりの学習ペースを作ったりしていきましょう。



ICTツールを使いこなそう

9-1. コミュニケーションツールを使いこなしましょう。

- **Slack**…LINEのようにメッセージやファイルの送信ができるアプリで、パソコン・スマホどちらでも使用可能です。即時性があるので、グループワークの際に使うと便利です。
- **Discord**…チャットや音声通話など、招待されたサーバー内でコミュニケーションをとれます。テキストチャンネル（話題ごとのチャット）が作れるので、話題が整理されます。
- **LINEオープンチャット**…お互いのアカウント情報を共有せずにコミュニケーションができます。匿名性が高く、アカウントを共有したくない人におすすめです。
- **Miro**…ホワイトボードのように付箋を貼り付けられるツールです。グループでアイデアを出し合う際に活用できます。

ICTツールを使いこなそう

- **KOAN**…大阪大学での教育に関する事柄を支援するシステムで、履修登録やカレンダーでのスケジュールの管理、アンケートへの記入、成績確認だけではなく、大学や教員からの連絡等、コミュニケーションの手段としても使われます。
- **CLE**…授業をIT面からサポートするための授業支援システムで、授業の資料や映像等を確認するだけではなく、掲示板を利用して教員や他の学生とコミュニケーションをとることができます。
- **BCU (Blackboard Collaborate Ultra)** …CLEベースで遠隔講義ができるシステムです。画面共有やチャット機能、挙手や反応ボタン、ホワイトボード、ブレイクアウトグループ機能があります。
- **ZOOM**…遠隔講義をおこなうシステムです。CLEを経由せずにやり取りできるので、授業時間外に学生同士でやり取りする際に便利です。

ICTツールを使いこなそう

9-2. 記録のためのツールを使いこなしましょう。

- **GoodNote5**…iPad/iPhone/Macとパソコン用のペンを持っている学生にはおすすめの手書きアプリです。ハイライトや注釈の追加ができます。
- **Googleドキュメント**…ウェブ上で使える文書作成ツールです。wordとの互換性があります。PDFとしての保存も可能です。
- **Padlet**…ウェブ上に様々な形式のファイルを保管することができます。他者との共有も簡単にできるので、グループでの作業時にも便利です。

ツールを効果的に使い分けて学習効果を高める例

【状況例】

授業はBCUを使った同時型オンライン形式で、グループで1つのプロジェクトに取り組むことになっている。どのようなプロジェクトを作成するか、まだ何も決まっていない状況。グループのメンバーとは一切面識がなく、進め方について教員からの指示もない。

【対応方法例】

CLEを利用してメンバーに連絡をとり、まずはLINEグループを作成して、授業時間外ではLINEでコミュニケーションをとる。授業中は、BCUとGoogleドキュメントを使って作業を進める。アイデアを発散させたい場合は、Miroを使う。

心と身体をケアしよう

10-1. 自分の心と身体をケアしましょう。

- オンライン授業では、パソコンのディスプレイを使った作業が多くなります。これにより目や心身に影響が出る「VDT (Visual Display Terminal) 症候群」を引き起こす可能性があります。
- これを避けるために、以下の点に留意しましょう。
 - パソコン画面との距離は50–80cmを維持する。
 - 画面の上端が目の高さと同じか、やや下になる高さに調整する。
 - 作業場所の明るさを調整する（暗すぎず明るすぎないように）。
 - 定期的に休憩をとる（1時間おきにタイマーをかける）。
 - 1日3食定められた時間に食事を取り、栄養バランスに留意する。
 - 起きる時間と寝る時間を決め、十分な睡眠時間をとる。
 - 1日1回は軽い運動をする。屋外に出て日光を浴びるのもよい。
 - 気分転換と運動を兼ねて大学図書館や学習スペースを利用する。

困ったら他者に助けを求めよう

11-1. 教員に相談してみましよう。

- 教員に質問・相談することに対して「話しかけにくい」「教員は対応してくれないかも」「能力がないと思われたくない」と考える人もいるかもしれませんが。しかし、ブレンデッド教育は新たな取り組みです。誰もが慣れない環境で困りごとに日々出会っています。こんな時、援助を求めることも大切な力です。教員は必ず対応します。
- 授業時間内に、挙手やチャットで質問すると、他の学生にも情報が共有されるというメリットがあります。一方で、他の学生にはあまり知られたくない場合は、後日メールで質問するとよいでしょう。

困ったら他者に助けを求めよう

11-2. キャンパスライフ健康支援センターに相談してみましよう。

- キャンパスライフ健康支援センターでは、様々な相談に応じています。何かに困ったり悩んだりしたとき、どこに相談してよいかわからないときは、躊躇せず、利用してください。

11-3. ウェブサイトやメールで情報を得ましよう。

- 大学公式のウェブサイトやメールを常にチェックしましょう。状況は刻々と変化しています。学内のサイトやメールを何度も確認する習慣をつけるようにしましょう。最新の情報を入手するようにしましょう。



学生同士でつながろう

12-1. 授業中は、挨拶・呼びかけ・リアクションをしましょう。

- 画面で顔が見えたら、まずは笑顔で挨拶をしましょう。オンラインでは誰に話しかけているのかがわかりにくいいため、質問をしても返ってこない場合があります。それを避けるために名前を呼ぶようにしましょう（例「〇〇さんはどう思いますか？」）。
- リアクションボタンで拍手をしたり、チャット欄にコメントを書いたりして、口頭表現以外のやり取りを増やしましょう。

12-2. 授業前後にフリートークの時間を作りましょう。

- 早めに接続したり、授業終了後もしばらく接続を切らずにいたりして、学生同士でフリートークを試してみましょう。教員にそのような時間を作ってもらおうよう頼んでもよいでしょう。

学生同士でつながろう

12-3. 受講生同士で交流会を開催してみましよう。

- ▶ オンラインでは友人が作りにくいと言われますが、オンラインでも友人を作ることには十分に可能です。勇気を出して、交流会の開催を提案してみましよう。オンラインであれば、場所を選ばず多人数の参加も可能です。キャンパス内でも、大学から示されるルールを守れば、少人数での交流会が可能です。

12-4. 学内外でのイベントに参加したり、企画したりしてみましよう。

- ▶ 大学では、授業の場以外にも、自分とあう友人がたくさんいます。学内外でのイベントに積極的に参加してみましよう。
- ▶ イベントへの参加だけではなく、仲間を集めて企画もできると、さらに世界は広がり、そして世界を自ら創ることができます。こんな時代だからこそ、できることを考えて、行動してみましよう。

参考資料 ① | 以下の資料を参考に作成しました

- 石川奈保子・向後千春（2017）「オンライン大学で学ぶ学生の自己調整学習方略およびつまずきの対処方略」『日本教育工学会論文誌』41 巻 4 号 pp. 329-343.
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjet/41/4/41_41063/_pdf/-char/ja)
- 大阪府立大学高等教育推進機構「GPAとCAP制」(<https://www.las.osakafu-u.ac.jp/lec-guide/gpa-and-cap/>)
- 学生のためのオンライン授業Tips & リンク集 by 石堂彰彦「Zoomのデータ通信量を減らす(パソコン)」(<https://online.nobnol.com/2020/05/05/zoom-traffic/>)
- 片岡栄美（1997）「学問的誠実性(Academic Integrity)の基準と共同研究の心得—アメリカの事例にみる学問的倫理—」『理論と方法』12 巻 1 号 pp. 85-95.
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/ojjams/12/1/12_85/_article/-char/ja/)
- 関西学院千里国際中等部・高等部「学問的誠実性」(https://www.kwansei.ac.jp/sis/sis_016582.html)
- 関西学院大学教務機構「オンライン授業受講の手引き」(<https://www.kwansei.ac.jp/cms/korona/>【学生用】授業準備の手引き(ver.1.0).pdf)
- Kindai Picks「使えるアプリはこれだ！オンライン授業をハックする上級者のマルチデバイス勉強術」(<https://kindaipicks.com/article/002101?fbclid=IwAR3qjkKPXdjEDHWVHIMoiQFXJ-59Q-tTlybez8-rHeROwzid1r5q4LKdppE>)
- 仙台大学「オンライン授業に向けて／VDT症候群について」(<https://www.sendaidaigaku.jp/news.html?post=1471>)
- 東京家政大学「Online授業マニュアル 学生編」(https://www.tokyo-kasei.ac.jp/user/2020covid19_online_manual.pdf)
- 東大新聞オンライン—東大の知をひらく—「偶然の出会い、自宅からでも 学生発・オンライン交流の場が続々」(<https://www.todaishimbun.org/onlineinterchange20200523/>)
- 日本教育メディア学会「オンライン授業に関するリンク集」(<http://jaems.jp/link/onlinelearning>)

参考資料 ② | 以下の資料を参考に作成しました

- ニルソン, L. B.編著・美馬 のゆり・伊藤崇達監訳 (2017)『学生を自己調整学習 者に育てる：アクティブラーニングのその先へ』北大路書房.
- Northeastern University “7 TIPS FOR NETWORKING IN AN ONLINE DEGREE PROGRAM”
(<https://www.northeastern.edu/graduate/blog/networking-for-online-learners/>)
- 兵庫県立大学「オンライン授業の受け方 ～概要編～」(https://www.hyogo-u.ac.jp/facility/create/gakusei_online_guidanse_r020416.pdf)
- Faculty Focus | Higher Ed Teaching & Learning “Tips for Fostering Students’ Self-Regulated Learning in Asynchronous Online Learning Environments”
(<https://www.facultyfocus.com/articles/online-education/tips-for-fostering-students-self-regulated-learning-in-asynchronous-online-learning-environments/>)
- 北星学園大学遠隔授業サポートチーム「北星_2020年度授業スタートアップガイド④」
(https://cgw.hokusei.ac.jp/hgu/wp-content/uploads/2020/04/北星_2020年度授業スタートアップガイド第四回-.pdf)
- 北星学園大学遠隔授業サポートチーム「北星_2020年度授業受講サポートガイド①」
(https://cgw.hokusei.ac.jp/hgu/wp-content/uploads/2020/04/北星_2020年度授業受講サポートガイド①.pdf)
- 明治大学国際日本学部・岸ゼミナール「オンライン授業plus 離れていてもできること」
(<https://www.meiji.ac.jp/nippon/info/2020/6t5h7p0000341n44.html>)
- 森山潤 (兵庫県立大学 教員養成・研修高度化センター)「オンライン授業の受け方FAQ」
(https://www.hyogo-u.ac.jp/facility/create/gakusei_online_faq_r020427.pdf)
- University of Illinois Springfield “What Makes a Successful Online Student?”
(<https://www.uis.edu/ion/resources/tutorials/pedagogy/successful-online-student/>)
- University of Rochester “Academic Honesty”
(<http://www.rochester.edu/college/honesty/policy/index.html#pledge>)